

主任者 コーナー

支部委員選出のお知らせ

第 29 期支部委員候補者をご推薦ください

放射線安全取扱部会
部会長 宮越 順二

1. はじめに

放射線障害防止法は、許可届出使用者に対して、放射線に関する知識と法令に明るい放射線取扱主任者を選任し、放射性同位元素等の取扱いについて監督を行わせるよう定めています。放射線安全取扱部会は、選任主任者と主任者免状所有者が相互の連絡と研鑽を図るために組織したものでしたが、その後、放射線管理を行っている者等にも門戸を開きました。部会は全国を7ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州）に分けてそれぞれに支部を置き、それらの支部を部会活動の大きな柱としています。支部の委員はこれまで選挙によって選出されてきましたが、第26期より推薦制度に改め、第29期は新制度に変更して4回目となります。

2. 支部委員候補者の推薦と選出

推薦に基づく選出制度によって、第29期支部委員が選出されます。まず支部委員候補者を、当該支部に所属する部会員1名が推薦する届（他薦のみ）を提出します。第28期支部委員会が、候補者の中から第29期支部委員候補者及び支部長候補者（部会員に限る）を部会長へ推薦します。自薦はできませんので、自ら支部委員を務めてみようとする部会員は、まず近くの部会員に推薦を依頼してください。また、全ての部会員は支部委員にふさわしい方を

是非とも推薦いただきたく、よろしくお願いたします。なお、前回より部会員以外の方でも放射線安全取扱部会の活動にご賛同、ご協力いただける方を支部委員候補者に推薦できますので、併せてお知らせいたします。

3. 支部活動と委員の役割

支部活動は、地域の主任者と放射線管理担当者を対象とした研修会、勉強会、交流会等が中心となります。全支部に共通する活動として、放射線業務従事者に対する教育訓練があります。各支部の独自企画ですが、企画専門委員会がレベルの向上と均一化を目指してアンケート評価の実施やテキスト等の共有化に協力しています。放射線安全取扱部会年次大会は各支部が持ち回りに担当して、企画と運営を行います。支部委員を中心に実行委員会が組織され、地域の特色が全国の部会員にアピールされます。協会が開催する定期講習にも、支部委員が講師として協力しています。

放射線安全取扱部会は、これまで部会員に限定せずに研修会や教育訓練等を行ってきていますが、公益法人制度への改革を受けて、より一層の公益性を前面に出すことが要求されるようになりました。協会の一部会として、社会的責任と活動を通して公共の安全確保に寄与することが目的となり、支部委員の方々にも新たな社会貢献活動の展開をお願いします。

4. 協会の公益法人化

平成 24 年 4 月より協会は公益社団法人へ移行しました。本部会は「放射線安全取扱部会」と改称し、新たな部会運営規程及び部会細則等が適用されております。支部委員が部会員（更に協会員）に限定されなくなる等、支部委員選出制度に若干の変更点はございますが、支部長はこれまでどおり部会員の中から選任されます。

5. 各支部の委員定数と部会員数

各支部の委員定数と部会員数を表に示します。放射線安全取扱部会の部会員は平成 27 年 7 月現在で 2,024 名です。全国に 6,000 か所を超える放射線事業所があり、毎年約 1,500 名もの主任者試験合格者が生まれていることと比較しますと、職能集団としてはいささか低い組織率だと言わざるを得ません。各支部の都道府県別の内訳は次のとおりです。

- 北海道支部（71）
- 東北支部：青森（28）、岩手（9）、宮城（49）、秋田（10）、山形（15）、福島（44）
- 関東支部：茨城（126）、栃木（24）、群馬（21）、埼玉（105）、千葉（109）、東京（310）、神奈川（148）、新潟（37）、山梨（7）、長野（20）
- 中部支部：富山（22）、石川（28）、福井（24）、岐阜（23）、静岡（55）、愛知（89）、三重（21）
- 近畿支部：滋賀（21）、京都（65）、大阪（154）、兵庫（76）、奈良（16）、和歌山（6）
- 中国・四国支部：鳥取（9）、島根（9）、岡山（38）、広島（38）、山口（16）、徳島（10）、香川（8）、愛媛（14）、高知（4）
- 九州支部：福岡（63）、佐賀（8）、長崎（16）、熊本（17）、大分（10）、宮崎（6）、鹿児島（15）、沖縄（9）

支部委員定数はおおむね部会員数を反映していますが、北海道支部のように部会員の少ない支部でも地域の活動に必要な 5 名の定員は確保

表 各支部の委員定数と部会員数

支 部	委員定数	部会員数
北 海 道	5	71
東 北	6	157
関 東	12	907
中 部	8	262
近 畿	10	338
中国・四国	6	145
九 州	6	144
合 計	53	2,024

しています。

6. 推薦と選出のスケジュール

第 29 期支部委員候補者の推薦、支部委員の選出は次のスケジュールで行われます。

推薦届の提出期間：

平成 27 年 11 月 1 日～30 日（消印有効）

支部委員会における第 29 期委員の選出：

平成 27 年 12 月～平成 28 年 1 月

本部運営委員会における選出委員の承認：

平成 28 年 2 月

第 29 期支部委員の活動：

平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日（予定）

支部長は支部委員候補者のうち部会員の中から選任されます。

支部委員の任期は 1 期 2 年ですが、その後も選出されれば再任を重ねることができ、最長 3 期 6 年となります。

7. 支部委員候補者推薦届

委員候補者：当該支部に所属する部会員（法人にあっては代表者）、又は部会員以外でも放射線安全取扱部会の活動にご賛同、ご協力いただける方に限ります。

推薦者：当該支部に所属する部会員（法人に

あつては代表者)に限ります。

当該支部に所属する部会員が別の部会員若しくは部会員以外から委員候補者として推薦することになりますが、あらかじめ候補者の同意を得てください。候補者は年齢、所属と会員であれば会員番号を推薦者にお知らせください。

現在、協会員であるけれども、放射線安全取扱部会部会員でない方は、協会総務課会員係(TEL:03-5395-8021 E-mail:kaiin@jrias.or.jp)にご連絡いただき、放射線安全取扱部会に所属したいと申し出てください。

推薦届：本号に掲載されていますが、そのフ

ァイルが協会ホームページ (<http://www.jrias.or.jp>) にも掲載されます。

必要事項を入力の上、電子メールの添付ファイルとして、事務局宛に送信してください。届出先は各支部ではありませんので、ご注意ください。ファックス、郵便でも受け付けますが、できるだけ電子メールでの送信をお願いします。用紙の各欄に必要な事項を記入することが必須で、空欄がある場合には受付できませんので、この点もご注意ください。届出締切日は11月30日です。

候補者をご推薦ください

支部委員の役割はそれぞれの地域の放射線安全にとって大変重要なものです。みなさまの近くに適任者が居られることと思います。その方の了解を得た上で、支部委員候補者としてご推薦をお願いいたします。

主任者 コーナー

平成27年11月 日

_____支部長 殿

第29期_____支部委員推薦届

放射線安全取扱部会_____支部委員に、_____氏を候補者として推薦します。

候補者名		所属	
年齢		歳	会員（番号：_____）・会員外
推薦理由			

注) 推薦理由は100～200字程度として下さい。

推薦者	氏名	
	所属	
	会員番号	
	連絡先	TEL : _____ E-メール : _____

○推薦届 提出締切日：11月末日

○推薦届出用紙の送付先

日本アイソトープ協会学術・出版課 放射線安全取扱部会事務局

〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45

Fax.03-5395-8053

E-mail : gakujuitsu@jrias.or.jp